

令和7年度 FaN Week 開催運営等業務委託 仕様書(案)

1. 目的

福岡市は、市民のウェルビーイングの向上を目指した「アートのある暮らし」と福岡発のアーティストが世界で活躍する「アートスタートアップ」を柱としたプロジェクト「Fukuoka Art Next」を推進している。

本業務は、Fukuoka Art Next 推進委員会（以下、「推進委員会」という。）が、市民等がアートを身近に感じる機会を創出するため、アートイベント「FaN Week」を開催し、福岡市美術館や福岡アジア美術館、アーティストカフェフクオカをはじめ、都心部の民間商業施設等と連携し、魅力的な展覧会等を開催するとともに、観光客等の集客促進と本市の取り組みを広く国内のアート関係者に認識してもらうための効果的な広報等を委託するもの。

2. 履行期間 契約締結の日 ～ 令和8年1月30日(金)まで

3. 履行場所 福岡市内

4. FaN Week2025 開催時期 令和7年9月13日(土)～9月28日(日)(予定)

5. 業務内容

市民等が身近にアートに触れる機会の創出及び FaN の認知度向上を図るため、民間事業者とも連携しながら実施するもの。

FaN Week の運営等業務に係る業務としては、下記のとおりとする。

- (1) FaN Week の全体運営
- (2) オープニングセレモニーの実施
- (3) アートコレクターの所蔵品によるコレクターズ展の企画・実施
- (4) 福岡で活動、活躍する作家の展覧会の企画・実施
- (5) FaN Week レセプションの実施
- (6) FaN Week 会場の周遊施策等の実施
- (7) FaN Week 会場の統一されたサイン看板の制作・設置
- (8) 広報、シティドレッシング等の企画・実施
- (9) その他、提案事業者の提案によるイベントの魅力を高める取組みの実施

・なお、福岡市美術館、福岡アジア美術館、アートフェアアジア福岡 2025 の会場となるマリメッセ福岡 B 館、天神エリア、博多エリアにおいて、多くの市民等がアートを身近に感じることが出来る機会を創出するもの。

6. 内容

(1) FaN Week の全体の運営

イベント全体の統括責任者を配置し、福岡市が別途委嘱する総合アドバイザー（アートイベントのプロデュース歴など経験豊富な人材）の助言のもと、FaN Week 全体の運営を行うこと。なお、総合アドバイザーの報酬及び旅費等の経費は福岡市が負担する。

統括責任者は、アートイベントの企画・実施の経験を有する人材を配置すること。また、統括責任者は、全体の事業総括、調整を担うことから、対人交渉能力やコミュニケーション能力、調整能力等を有する人材を配置すること。なお、運営体制の構築にあたっては、事業ノウハウの蓄積を意識し、より多くの地元アート関係者や、今後福岡を拠点として活動する予定のアート関係者を配置すること。

(2) オープニングセレモニーの実施 (FaN Week 開催期間のうち 1 回開催)

FaN Week のオープニングセレモニーを実施すること。

・オープニングセレモニーの実施にあたっては、過去の実績を参考にし、導線確保や警備体制など綿密に調整すること。

(3) アートコレクターの所蔵品によるコレクターズ展の企画・実施 (FaN Week 開催時期と同じ)

推進委員会が選定するキュレーターを配置し、コレクターズ展の企画・実施を行うこと。また、コレクターは、キュレーターと推進委員会で協議のうえ決定することとする。

【会 場】福岡市美術館特別展示室

【コレクター数】2 名（想定）

【作品数】30 点（想定）

- ①コレクターズ展の企画・キュレーション。
- ②展示作品の集荷・輸送・展示（展示期間中に展示を修正する必要がある場合、その作業含む）・撤去・返却（作業に当たっては美術品専門の輸送会社を使い、損害保険付保のこと）。
- ③作品にふさわしい会場造作及びサインやキャプション等の制作・設置・撤去（広報用に使用する画像等の著作権処理も行うこと。）
- ④コレクターズ展の開催を告知する館内外でのサインの制作・設置・撤去
- ⑤作品設置に必要な工作物の制作・設置・撤去
- ⑥映像作品用機器類の調達・手配・設置・動作確認・保守点検。機器選定にあたっては作家の指示に従う。
- ⑦展示期間中のもぎり及び監視員の配置（映像作品は映像 ON と OFF 作業を含む）、もぎり・監視員用の各マニュアル作成と指導。必要に応じて会場入り口等での誘導員の配置（※もぎり・監視員にはイベント保険を付保）。
- ⑧来場者配布用として、作品リストを制作・設置（配付用作品リストは日本語と英語で表記）。
- ⑨入場券、招待券の作成・印刷。

⑩ポスター、チラシの作成・印刷・発送。

- ・①～⑩の企画・実施にあたり適切な人材を配置すること。
- ・展示可能範囲については「資料 3 参考図面（コレクターズ展）」のとおりとし、関係者等と十分に協議・連携し、会場造作等行うこと。また、展示期間終了後、入口を塞ぐ仮設壁の造作も行うこと。
- ・作品設置・撤去時には必ず責任者としてキュレーター等を配置し立会すること。
- ・業務の実施にあたっては、コレクターの意思を尊重し、福岡市美術館職員とも詳細を協議しながらすすめること。
- ・コレクターへのフォローとして、会期中の関係者アテンドや会期終了後のお礼なども推進委員会と連携して実施すること。
- ・本業務には、キュレーター、インストレーター等にかかる全ての費用（現地滞在に係る経費等）も含む。

（４）福岡で活動、活躍する作家の展覧会の企画・実施（FaN Week 開催時期と同じ）

過去の「福岡現代作家ファイル」を参考に、FaN Week 期間中、福岡で活動・活躍する福岡アートアワード受賞者や福岡アジア美術館レジデンスアーティストなどの作品を天神や博多エリアの集客施設や交通結節点等において企画・展示すること。

・業務内容は以下のとおりとする。

- ①福岡で活動、活躍する作家の展覧会の企画・キュレーション。
- ②展示作品の制作・運搬・展示・撤去・返却（作業に当たっては美術品専門の輸送会社を使い、損害保険付保とし、作品展示に係る保険も加入すること。）。
- ③作品にふさわしい会場造作、及びサインやキャプション等の制作・設置・撤去（広報用に使用する画像等の著作権処理も行うこと。）。
- ④作品設置に必要な工作物の制作・設置・撤去。
- ⑤映像作品用機器類の調達・手配・設置・動作確認・保守点検。機器選定にあたっては作家の指示に従う。
- ⑥展示期間中の監視員の配置（街中会場の開閉と清掃を含む、映像作品は映像 ON と OFF 作業を含む）、監視員用マニュアル作成と指導。必要に応じて会場入り口等での誘導員の配置（※すべての会場で 1 ポスト 2 名体制が原則。監視員にはイベント保険を付保）。
- ⑦来場者配布用として、作品リストを制作・設置（配付用作品リストは日本語と英語で表記）。
- ⑧ポスター、チラシの作成・印刷・発送。

- ・①～⑧の企画・実施にあたり適切なアーティスト、キュレーター、インストレーターを選定し、配置すること（各々の兼務可）。なお、キュレーター、インストーラーの選定にあたっては、現代美術展の企画運営経験や、複数のアーティストが参画するアートイベントの企画・実施の経験、キュレーターやアートイベントの実績を示すこと。
- ・市民や観光客、アート関係者にも親しみやすいテーマを設定すること。
- ・作品設置・撤去時には必ず責任者としてキュレーターあるいはインストレーターを配置し立会すること。
- ・業務の実施にあたっては、アーティストの意思を尊重し、推進委員会とも詳細を協議しながらすすめること。
- ・本業務には、アーティスト、キュレーター、インストレーターにかかる全ての費用（現地滞在に係る経費等）を含む。

(5) FaN Week レセプションの実施

FaN Week のレセプションを実施すること。

【開催日】令和 7 年 9 月 25 日(木) 18:00 頃 (日時は予定)

【会 場】福岡アジア美術館アートカフェ

【参加者】300 名(想定)(アート関係者、FaN パートナー企業関係者、アートフェアアジア福岡出展者等)

・業務内容は以下のとおりとする。

- ・過去に実施した FaN Week レセプションと同等程度の会場設営(音響、ステージ設営など)及び必要な人員(司会者等)を配置すること。
- ・参加者の満足度向上に資するレセプションを意識し、会場設営や参加者の対応を行うこと。
- ・アートフェアアジア福岡とのレセプションと連携を図ること。

(6) FaN Week 会場の周遊施策等の実施

○FaN Week 会場の周遊施策

FaN Week の開催を知らせ、会場の周遊を図るためのインビテーションをデザイン・制作するとともに、インビテーションを送付する著名なアート関係者リストを作成すること。

【インビテーション(招待状)の規格】

- ① 封筒:角形 6 号(162×229mm)
- ② 台紙:150×210mm、切込み 2 ヶ所
- ③ チケット:55×91mm

- ・インビテーションデザイン(封筒・台紙・チケット)は、「FaN Week2024」キービジュアルを踏襲すること。
また、キービジュアルの使用については「資料 4 FaN Week KV ガイドライン」をもとにすること。
- ・①、②、③をそれぞれ 100 部ずつ制作すること。
- ・インビテーションの納品先は推進委員会とし、封入作業は不要とする。

○アートツアーの開催

【開催日】令和 7 年 9 月 27 日(土) (予定)

【会 場】FaN Week の各会場

【参加者】30 名(想定)

Fukuoka Art Next 事業の魅力を広く発信することができる、アートに造詣が深い関係者等を対象としたアートツアーに必要な移動手段の手配(観光バスを想定)を行うこと。

(7) FaN Week 会場の統一されたサイン看板の制作・設置

市民や観光客が FaN Week 会場を一目で認識できるよう、統一されたサイン看板をデザイン、制作し、

FaN Week のメイン及びサテライトの各会場に設置すること。

- ・メイン会場：福岡市美術館、福岡アジア美術館、Artist Cafe Fukuoka 等
- ・サテライト会場：FaN パートナーが実施するアートイベント会場（20 か所を想定）
- ・業務内容は以下のとおりとする。
- ・サイン看板のデザインは「FaN Week2024」キービジュアルを踏襲すること。また、キービジュアルの使用については「資料 4 FaN Week KV ガイドライン」をもとにすること。サイン看板デザインの最終的な決定は、総合アドバイザー及び推進委員会と協議のうえ決定することとする。
- ・各会場への設置については、関係者等と十分に協議・連携すること。

(8) 広報、シティドレッシング等の企画・実施

FaN Week 開催を広く周知するため、広報物のデザイン・制作、FaNWeek2025 の Web サイト、動画等を制作し、情報発信等を実施すること。

○広報物

- ①FaN Week 2025 ポスター … B2 サイズ 100 部
- ②FaN Week 2025 リーフレット … W 折りリーフレット(A5 仕上がり) 10,000 部

- ・広報物のデザインについては「FaN Week2024」キービジュアルを踏襲すること。また、キービジュアルの使用については「資料 4 FaN Week KV ガイドライン」をもとにすること。
- ・制作した広報物の内、ポスター30 部、リーフレット 3,000 部を推進委員会に納品すること。残りは送付先リストを作成し、発送を行うこと。
- ・完成したデータは、推進委員会へ PDF で納品すること。

○Web サイト

- ・「FaN Week 2025」の特設サイトを制作し、イベント概要やアーティスト・作品情報などを分かりやすく集約すること。本イベントは、内容が複雑且つ多岐に渡るため、ユーザーが目的とする情報を取得しやすいよう設計とデザインを工夫すること。
- ・パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末の種類や画面サイズに応じて最適化して表示されるレスポンシブデザインにすること。
- ・段階的な情報解禁や内容の変更、修正にも対応できるよう、Web サイト公開後も更新がしやすい仕様とし、設計段階で推進委員会と詳細を協議すること。
- ・履行期間中、推進委員会からの修正があった際、迅速に対応すること。
- ・Web サイトに問題が発生した際、迅速に対応すること。
- ・Web サイトは履行期間の制限を受けず、履行期間終了後も閲覧できる状態を維持すること。

○動画制作

FaN Week の認知度を高めるための動画を制作するとともに放映すること。

- ・制作動画数：1 本（30 秒）
- ・動画制作に必要な静止画等の素材は推進委員会が提供する。
- ・集客力が高い商業施設、天神・博多エリアなどで放映すること。

○SNS・Web 広告の配信

- ・集客力を高める、効果的な広告配信を行うこと。
- ・広告データの作成も行うこと。なお、素材は推進委員会より提供する。
- ・広告効果について、集計・分析を行い報告書にまとめること。

○天神や博多エリア等でのシティドレッシング

FaN Week 2025 の認知度を高めるため、下記のエリア（通り）等に、バナー等を制作・設置し、シティドレッシングを行うことで、アートの賑わいを創出し、機運醸成を図ること。

- ① 天神エリア（きらめき通り、明治通り等）
- ② 博多エリア（大博通り等）
- ③ 福岡空港・博多駅（コンコースを含む）

- ・使用するバナーフラッグなどのデザインは「FaN Week2024」キービジュアルを踏襲すること。また、キービジュアルの使用については「資料 4 FaN Week KV ガイドライン」をもとにすること。
- ・バナーフラッグやその他広告を設置するにあたっては、関係者等と十分に協議・連携すること。また、必要な手続き、申請などを適切に行うこと。

○記録集の制作

- ・FaN Week の会期終了後、イベント概要をまとめた記録集を下記のとおり制作すること。
 - ①規格：A4 判、フルカラー、中綴じ、32 ページ（表紙・背表紙を含む）
 - ②部数：200 部
- ・本業務には、編集・デザイン・原稿の英訳・会場（作品）撮影・印刷までを含むものとする。
- ・原稿の英訳については、ネイティブチェックまで行うこと。なお、原稿の和訳については、推進委員会が作成する。
- ・撮影にあたっては、美術作品の撮影経験があるカメラマンを配置し、各会場との調整（日程調整や撮影機材の持ち込みなど）、キュレーターやアーティストとの事前打合せ（写真の構図など）を行うこと。
- ・撮影データは、記録集に掲載しなかったものも含め、推進委員会に納品すること。また納品にあたっては、データの補正も行うこと。
- ・色校正は 2 回以上行うこと。
- ・推進委員会に納品すること。
- ・完成したデータは、PDF で納品すること。

(9) その他、提案事業者の提案によるイベントの魅力を高める取組みの実施

上記以外で、提案事業者による独自のアートイベントの開催、FaN パートナー企業との連携企画、集客力を高める取組みなど、提案事業者の提案による FaN Week 全体の魅力を向上させる取組みを実施すること。

6. 成果品

○委託事業報告書データ …… CD-ROM 1部
報告書 1部

7. 注意事項

- (1) 業務の実施にあたっては、推進委員会と十分協議・連絡をとりながら業務を遂行すること。
- (2) 本業務を遂行する上で知り得た情報・秘密については、推進委員会の承諾を得ることなく第三者に漏らしたり、委託業務以外の目的に使用してはならない。委託期間が終了し、また委託契約が解除された後においても同様とする。
- (3) 本業務で得た成果品については、推進委員会に帰属する。
- (4) 本仕様書に定めのない事項については、必要に応じて協議して定めるものとする。